

石川県林業試験場石川ウッドセンター環境行動計画

平成22年12月20日

■ 取り組み方針

石川ウッドセンターは、県産材の活用促進と石川ブランド新製品開発の技術拠点として設置されました。

当センターは、本県の森林資源を有効に活用するための試験研究、情報提供、依頼試験等の業務のほか、木材業界のニーズに応えた開放型の研究施設として利用されています。

当センターにおいて普及啓発活動を推進していくうえで、県産材に関する試験研究及び普及活動だけでなく、環境保全全般について、職員一人ひとりが強い意識を持って、取り組むことは大変重要なことであると考えています。

また、公的機関として、民間企業や県民に対して率先し、模範となるよう行動する使命を背負っているものと認識しております。

このため、私たちは、当センターの活動が環境負荷へ及ぼす影響を少なくするため、以下の行動に取り組みます。

- ① 事業活動の中で省エネルギー化・省資源化（紙の節約）を進め、二酸化炭素の排出量を抑制します。
- ② 事務用品の購入にあたっては、積極的にグリーン製品を採用します。
- ③ 資源（用紙）のリサイクルを進め、有効利用を図ります。

この方針に基づいて、職員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むため、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全職員に周知します。

平成22年12月20日

石川県林業試験場石川ウッドセンター

場 長 森 田 久 志

5. 環境負荷低減への具体的な取組

(1) 二酸化炭素排出量の削減

NO.	取組内容	評価	責任者
1	事務室の空調温度を適正(冷房時28℃、暖房時19℃)に設定する		主任研究員
2	昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する		全員
3	パソコンとコピー機の節電機能を活用する		全員
4	公用車の効率的な使用(運転経路、相乗り)を徹底する		全員
5	アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける		全員
6	車の空調温度を適正温度に設定する		全員

(2) 廃棄物排出量の削減

NO.	取組内容	評価	責任者
1	ごみの分別回収を徹底(表示、ルール等)		全員
2	リサイクルの推進(3R=reduceリデュース減量、reuseリユース再使用、recycleリサイクル)		全員
3	リサイクル製品を優先的に選んで購入する		全員
4	製品をできるだけ長時間使用する		全員

(3) 水使用量の削減

NO.	取組内容	評価	責任者
1	配管からの漏水を定期的に点検する		主任研究員
2	手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する		主任研究員
3	洗車用のホースに手元コックを取り付ける		主任研究員

(4) コピー用紙使用量の削減

NO.	取組内容	評価	責任者
1	両面コピー、裏紙使用の徹底		全員
2	会議用書類、ISO用書類のコピー枚数を最小限に		全員
3	書類の提出はe-mailで、会議案内もe-mailで		全員
4	電子決済システムを活用し、添付文書も電子ファイル化する		全員
5	書類の作成ミス、コピーミスをなくす		全員

6. 環境行動計画の実施体制

場長を委員長とする環境活動委員会を設け、四半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックする。

4. 環境負荷の低減目標

環境負荷の低減目標は前年度実績を基準にして1%を削減していくことを目標とします。

(1) 二酸化炭素排出量

環境負荷		単位	平成21年実績
二酸化炭素排出量	電力	Kg-CO ₂	22,073
	灯油	Kg-CO ₂	1,803
	LPG	Kg-CO ₂	4
	ガソリン	Kg-CO ₂	4,085
	軽油	Kg-CO ₂	234
	合計	Kg-CO ₂	28,199

(2) 廃棄物排出量

今後、一般廃棄物の排出については、分別、計測することとする。

(3) 水、コピー用紙、トイレトペーパー

水の使用量	m ³	285
コピー用紙の使用量	kg	102